

日本BS放送株式会社

2019年8月期 第3四半期

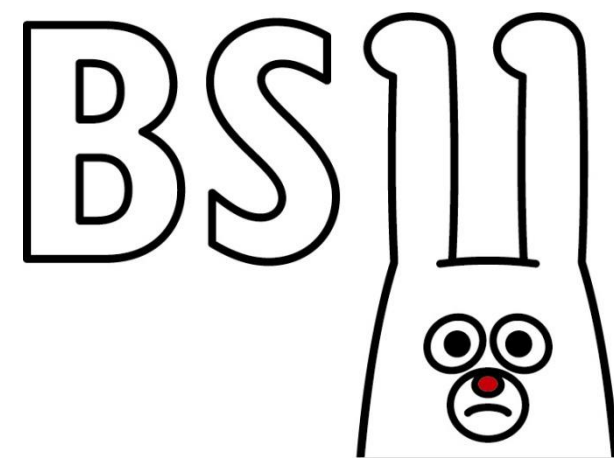
(決算補足説明資料)

2019年7月5日



東証一部 コード: 9414

I 決算概況



売上高は**9,187**百万円（前期比0.1%減）、営業利益は**1,333**百万円（前期比35.4%減）、
親会社株主に帰属する当期純利益は**905**百万円（前期比35.4%減）

（単位：百万円、下段は構成比）

	2018年8月期 第3四半期 累計	2019年8月期 第3四半期累計			
		実績	前年 同期比	増減額	主な変動要因
売上高	9,195 (100.0%)	9,187 (100.0%)	▲0.1%	▲7	(売上高)
売上総利益	4,958 (53.9%)	4,428 (48.2%)	▲10.7%	▲530	・放送事業収入・・・▲333百万円 ・その他収入・・・+4百万円 ・その他収入(出版)・・・+321百万円
営業利益	2,064 (22.4%)	1,333 (14.5%)	▲35.4%	▲730	(営業利益)
経常利益	2,062 (22.4%)	1,334 (14.5%)	▲35.3%	▲727	・放送事業・・・▲712百万円 ・出版事業・・・▲41百万円
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,400 (15.2%)	905 (9.9%)	▲35.4%	▲495	

（単位：百万円、下段は構成比）

		2018年8月期末	2019年8月期	
			第3四半期末	前年増減額
	流動資産	12,114 (63.1%)	12,219 (63.7%)	+104
	固定資産	7,094 (36.9%)	6,974 (36.3%)	▲119
資産合計		19,208 (100.0%)	19,193 (100.0%)	▲15
	流動負債	2,265 (11.8%)	1,679 (8.8%)	▲585
	固定負債	103 (0.5%)	101 (0.5%)	▲1
負債合計		2,368 (12.3%)	1,780 (9.3%)	▲587
純資産合計		16,839 (87.7%)	17,412 (90.7%)	+572
負債・純資産合計		19,208 (100.0%)	19,193 (100.0%)	▲15

2019年8月期 第3四半期 総括

売上高 **8,714百万円**（前期比 3.5%減）

営業利益 **1,332百万円**（前期比 35.0%減）

- 売上高は、広告媒体多様化による業界環境変化の影響等を大きく受け、前年・計画を下回って推移
- 営業利益は、番組関連・広告関連費用を計画的に使用しながら、可能な経費削減に努めたものの、減収の影響により計画を若干下回る水準で推移

売上高は**8,714**百万円（前期比3.5%減）、営業利益は**1,332**百万円（前期比35.0%減）、
四半期純利益は**912**百万円（前期比35.1%減）

	2018年8月期 第3四半期 累計	2019年8月期 第3四半期累計			
		実績	前年 同期比	増減額	主な変動要因
売上高	9,028 (100.0%)	8,714 (100.0%)	▲3.5%	▲313	(売上高) ・タイム収入 … ▲142百万円 ・スポット収入… ▲190百万円 ・その他収入 … +19百万円
売上総利益	4,829 (53.5%)	4,204 (48.2%)	▲12.9%	▲625	(段階利益) 番組関連費用および広告関連費用を積極的且つ効率的に使用 その他売上原価・販売管理費を削減
営業利益	2,049 (22.7%)	1,332 (15.3%)	▲35.0%	▲717	売上原価 ・良質な自社制作番組の継続的強化 ・厳選した人気番組の積極的購入 ・その他売上原価を削減
経常利益	2,051 (22.7%)	1,336 (15.3%)	▲34.9%	▲714	販売管理費 ・広告関連費用を積極的に投資 ・業容拡大に伴う人件費の増加 ・その他販売管理費は削減
四半期純利益	1,404 (15.6%)	912 (10.5%)	▲35.1%	▲492	

売上区分別実績（個別）

（単位：百万円、下段は構成比）

		2018年8月期 第3四半期累計	2019年8月期 第3四半期累計	
			実績	前年同期比
売上高		9,028 (100.0%)	8,714 (100.0%)	▲3.5%
	タイム収入	6,556 (72.6%)	6,414 (73.6%)	▲2.2%
	スポット収入	2,217 (24.6%)	2,026 (23.3%)	▲8.6%
	その他	254 (2.8%)	274 (3.1%)	+7.5%

主な増減要因（前年同期比）

■ タイム収入

- ・ 良質な自社制作番組の強化により番組提供クライアントの販売単価は堅調に増加したものの、ショッピング枠縮小に伴い売上減少
⇒ クオリティを追求した自社制作番組を中心に一般番組への新規クライアント獲得と更なる単価アップに注力

■ スポット収入

- ・ ショッピング業界の環境変化（ネットなどへの媒体変更）の影響により減収
⇒ 効果的な広告宣伝の実施・強化により媒体価値向上を推進。新規クライアントの獲得と単価アップに注力

■ その他

- ・ アニメ製作委員会への出資に伴う配当金収入、保有コンテンツの販売に伴う収入が好調
⇒ 好調分野を更に推進するとともに、放送周辺事業の新規取り組みを積極的に実施

主要費用項目実績（個別）

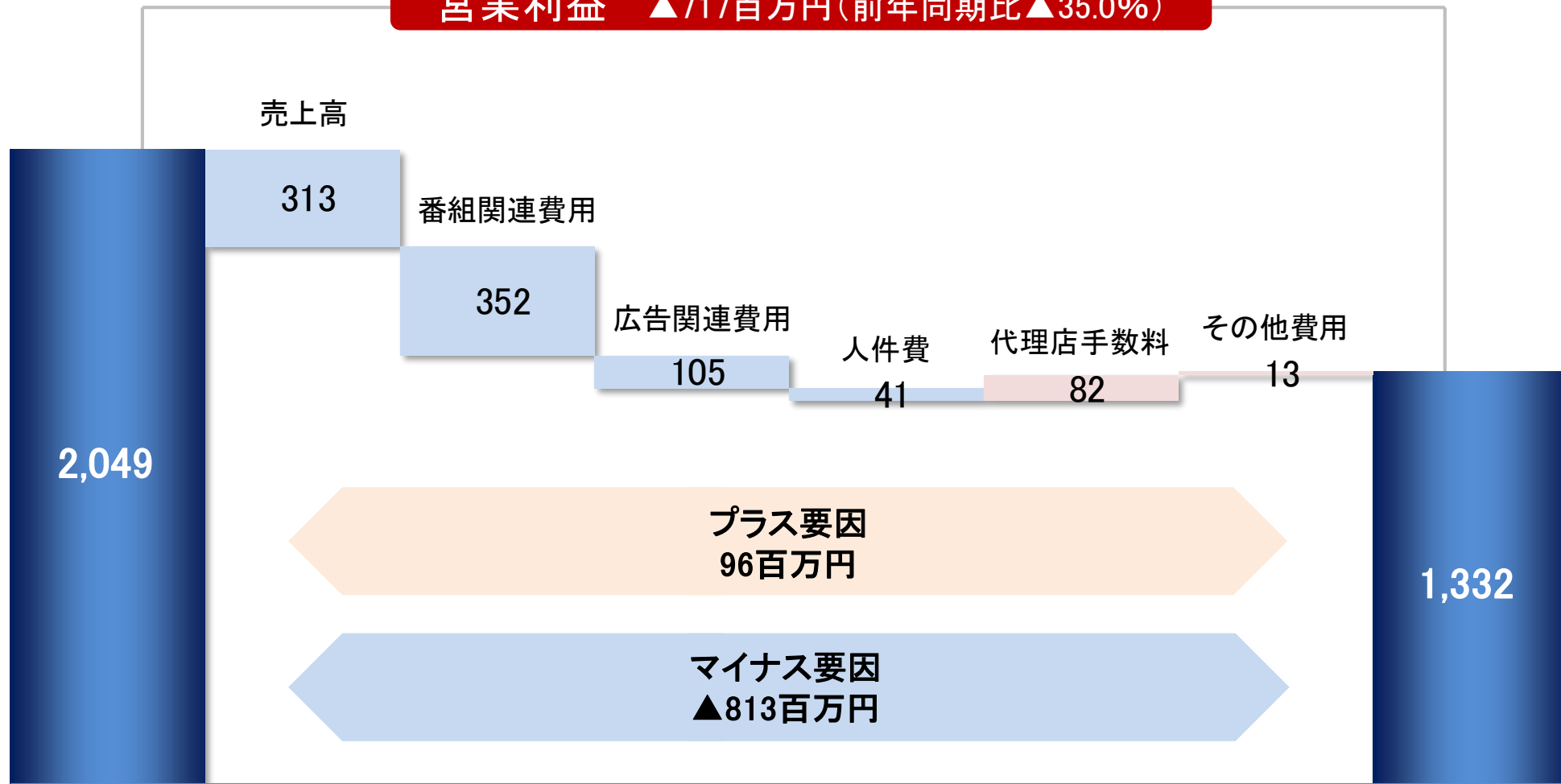
BS11日本BS放送

（単位：百万円、下段は売上比）

		2018年8月期 第3四半期累計	2019年8月期 第3四半期累計		
			実績	前年同期比	主要な増減要因
番組関連費用（原価）		2,778 (30.8%)	3,130 (35.9%)	+12.7%	《番組購入費》 ・厳選した人気海外ドラマや映画等の購入による増加
	番組購入費	467 (5.2%)	542 (6.2%)	+15.9%	《番組制作費》 ・良質な自社制作番組に伴う、番組内容のより一層の充実による増加 ・新たな施策展開 （eスポーツ大会やアニソンライブ等の運営・放送）
	番組制作費	2,310 (25.6%)	2,588 (29.7%)	+12.0%	
放送関連費用（原価）		472 (5.2%)	468 (5.4%)	▲0.9%	
	放送委託費	416 (4.6%)	416 (4.8%)	0%	
	技術費	56 (0.6%)	51 (0.6%)	▲7.5%	
広告関連費用（販管費）		845 (9.4%)	951 (10.9%)	+12.5%	《広告宣伝費》 ・4月の番組改編に伴う増加（交通広告・折込チラシ等） ・番組視聴世帯数増加に向け新聞広告（全国・地方）を継続強化 ・WEB等の媒体を戦略的且つ効果的に活用 ・局認知向上を目的にローカル局へのテレビCM広告を実施
	広告宣伝費	786 (8.7%)	893 (10.2%)	+13.5%	
	販売促進費	59 (0.7%)	58 (0.7%)	▲1.5%	

営業利益 ▲717百万円（前年同期比▲35.0%）

単位：百万円



2018年8月期
第3四半期累計

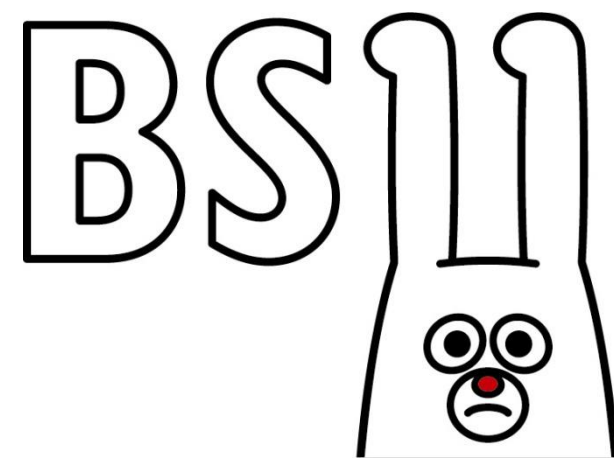
2019年8月期
第3四半期累計

貸借対照表の概要（個別）

（単位：百万円、下段は構成比）

		2018年8月期末	2019年8月期		
			第3四半期末	増減額	主要な増減要因
	流動資産	11,438 (61.7%)	11,506 (62.3%)	+68	・現金及び預金の増加・・・+123百万円 ・売掛金の減少・・・▲85百万円
	固定資産	7,092 (38.3%)	6,975 (37.7%)	▲117	・有形固定資産の減少・・・▲96百万円
資産合計		18,531 (100.0%)	18,482 (100.0%)	▲49	
	流動負債	1,594 (8.6%)	959 (5.2%)	▲635	・未払金の減少・・・▲92百万円 ・未払費用の減少・・・▲93百万円 ・未払法人税等の減少・・・▲405百万円
	固定負債	85 (0.5%)	92 (0.5%)	+7	
負債合計		1,680 (9.1%)	1,051 (5.7%)	▲628	
純資産合計		16,851 (90.9%)	17,430 (94.3%)	+579	・利益剰余金の計上・・・+573百万円
負債・純資産合計		18,531 (100.0%)	18,482 (100.0%)	▲49	

Ⅱ 通期計画



売上高は**14,000**百万円（前期比12.1%増）、営業利益は**2,005**百万円（前期比17.4%減）、
親会社株主に帰属する当期純利益は**1,400**百万円を計画（前期比15.6%減）

（単位：百万円、下段は構成比）

	2018年8月期		2019年8月期				
	第3四半期 累計	通期	第3四半期累計		通期計画		
			実績	前年同期比	計画	前年同期比	増減額
売上高	9,195 (100.0%)	12,494 (100.0%)	9,187 (100.0%)	▲0.1%	14,000 (100.0%)	+12.1%	+1,505
営業利益	2,064 (22.4%)	2,427 (19.4%)	1,333 (14.5%)	▲35.4%	2,005 (14.3%)	▲17.4%	▲422
経常利益	2,062 (22.4%)	2,425 (19.4%)	1,334 (14.5%)	▲35.3%	2,005 (14.3%)	▲17.3%	▲420
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,400 (15.2%)	1,659 (13.3%)	905 (9.9%)	▲35.4%	1,400 (10.0%)	▲15.6%	▲259

売上高は**13,500**百万円（前期比12.4%増）、営業利益は**2,000**百万円（前期比17.2%減）、
当期純利益は**1,400**百万円を計画（前期比16.2%減）

（単位：百万円、下段は構成比）

	2018年8月期		2019年8月期				
	第3四半期 累計	通期	第3四半期累計		通期計画		
			実績	前年同期比	計画	前年同期比	増減額
売上高	9,028 (100.0%)	12,015 (100.0%)	8,714 (100.0%)	▲3.5%	13,500 (100.0%)	+12.4%	+1,484
タイム収入	6,556 (72.6%)	8,742 (72.8%)	6,414 (73.6%)	▲2.2%	9,593 (71.1%)	+9.7%	+850
スポット収入	2,217 (24.6%)	2,933 (24.4%)	2,026 (23.3%)	▲8.6%	3,353 (24.8%)	+14.3%	+419
その他	254 (2.8%)	338 (2.8%)	274 (3.1%)	+7.5%	554 (4.1%)	+63.8%	+215
営業利益	2,049 (22.7%)	2,416 (20.1%)	1,332 (15.3%)	▲35.0%	2,000 (14.8%)	▲17.2%	▲416
経常利益	2,051 (22.7%)	2,420 (20.1%)	1,336 (15.3%)	▲34.9%	2,000 (14.8%)	▲17.4%	▲420
当期純利益	1,404 (15.6%)	1,670 (13.9%)	912 (10.5%)	▲35.1%	1,400 (10.4%)	▲16.2%	▲270

期末配当金を1円増配、20.0円を計画

配当政策の基本方針

- ・ 当社は、BSデジタル放送事業者という高い公共性に鑑み 永続的且つ健全な経営の維持に努めるとともに、財務体質の強化と内部留保の充実を考慮しつつ、将来の事業展開等を総合的に勘案した上で、長期にわたり**安定した**利益配当を**継続的に**実施する方針です。
- ・ **年1回**の期末配当を行うことを基本とします。

年間配当金

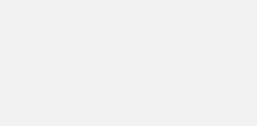
	2015年 8月期	2016年 8月期	2017年 8月期	2018年 8月期	2019年 8月期 (予想)
年間配当	15.0 円	17.0 円	18.0 円	19.0 円	20.0円
普通配当	13.5 円	17.0 円	18.0 円	19.0 円	20.0円
記念配当	1.5 円	0 円	0 円	0 円	0円
1株当たり当期純利益	68.34 円	82.04 円	85.27 円	86.50 円	78.64円

株主優待制度の概要

- ・ 8月末日、2月末日を基準日として、年2回の株主優待を実施
- ・ ビックカメラグループ全店で利用可能な「ビックカメラ商品券」1,000円券1枚を贈呈
- ・ 各基準日現在の当社株主名簿に記載または記録された当社株式1単位(100株)以上保有されている株主様が対象

長期保有株主優待制度の概要

- ・ 以下の2要件の両方に該当する株主様に対し、「ビックカメラ商品券」(1,000円券)を追加贈呈
 - ①基準日(毎年8月末日、2月末日)の当社株主名簿に連続3回以上同一株主番号で記載または記録されたこと
 - ②当社株式1単位(100株)以上を継続して保有されていること

基準日		2月末日	8月末日
贈呈時期		5月	11月
贈呈内容	株主優待制度	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚
	長期保有株主優待制度	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚

持続的成長に必要な『4つの“力”』

企画“力”

プロデュース“力”

キャスティング“力”

マーケティング“力”

企画 力 Planning	視聴者やクライアントのニーズを捉え、的確な企画立案
キャスティング 力 Casting	映像の「商品価値」を高めるスタッフ・出演者のキャスティング
マーケティング 力 Marketing	データベースを用いて潜在的な需要を喚起し効果的に戦略実行
プロデュース 力 Produce	皆様の役に立つ、質の高い情報・番組を提供・制作

重点施策としての『5本の矢』



1. 自社制作番組の充実と拡大

- ・ 人気番組に集中して資源を投下
- ・ 番組を「作品」から「商品」へと昇華



2. 情報番組の選択と拡大

- ・ プレミアエイジへのホスピタリティの強化
- ・ イベント等番組連動企画の立ち上げ



3. アニメ番組の強化

- ・ 得意分野の更なる強化
- ・ 目指すのは「アニメといえばBS11」



4. ローカル局とのコラボ

- ・ 独立ローカル局の強みを生かした差別化施策
- ・ 日本各地の「いいもの」を全国へ発信



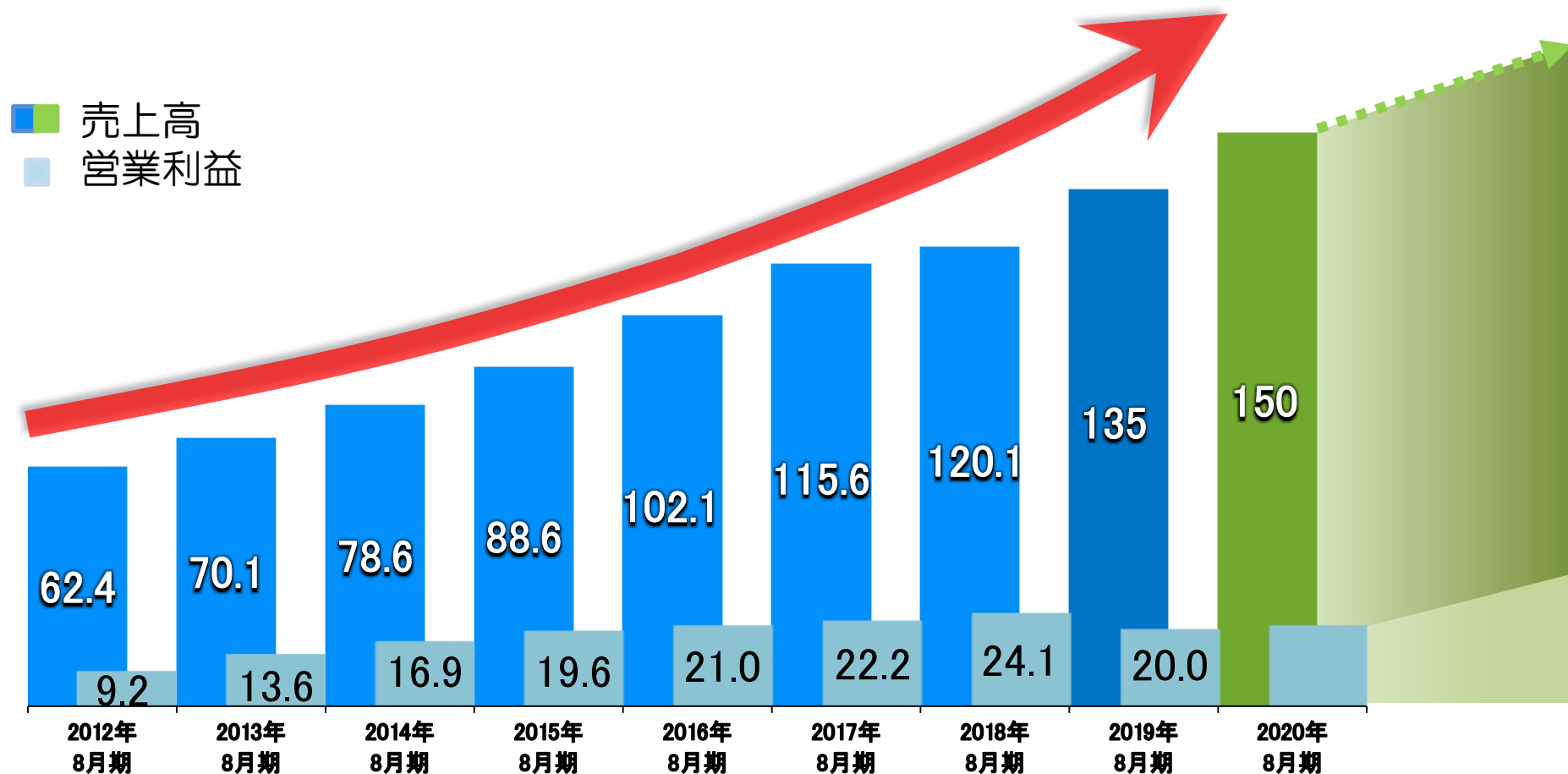
5. スポーツコンテンツの充実

- ・ 新たなニーズの発掘
- ・ 「BS11ならではの」のコンテンツ作り

2020年 売上150億円必達！ ～民放BS局トップグループへ！～

（単位：億円）

■ 売上高
■ 営業利益



新番組・人気番組ラインナップ（2019年4月～）

新



毎週木曜 よる7時30分～

2019年4月より国民的歌手である八代亜紀さんが
歌謡番組としては初のMCを務める「八代亜紀 いい歌いい話」
楽しいトークと素敵な歌をお届け！



毎週月曜 よる11時00分～



毎週月曜 よる7時00分～



毎週金曜 よる8時00分～

※7月より「Anison Days」は金曜よる10時、「アニゲー☆イレブン！」は金曜よる10時30分に
放送時間を変更しております



毎週月曜 よる11時30分～



毎週金曜 よる7時00分～



毎週日曜 よる10時00分～

➤ 視聴者の皆様のニーズを捉え、番組内容を更に充実！

アニメ番組の強化

◆製作委員会出資作品(2019年4月放送開始)



©2019 吉岡 剛・菊池政治/KADOKAWA/賢者の孫製作委員会



©2019 リムコロ/KADOKAWA/
世話やきキツネの仙狐さん製作委員会



©筒井大志/集英社・ぼくたちは勉強ができない製作委員会



©2019 Five fairy sholars/フェアリーゴーン製作委員会

➤ 当期製作委員会に出資した**4**タイトルを含め、およそ**40**タイトルのアニメ番組を毎週放送！

ローカル局とのコラボ

KBS京都と共同製作

和歌山県庁との取組み
テレビ和歌山と共同製作

各ローカル局とのコラボ



スポーツコンテンツの充実



➤ ローカル局とのコラボレーションを積極的に実施

➤ 2020年に向け豊富なコンテンツをお届け

特別番組



➤ 様々なジャンルの特別番組を積極的に放送！

イベント出展（企業コラボ等）

新たな施策



番組初となる公開収録をよみうりランド 日テレらんらんホールで実施。番組MCのLynn（リン）、葉山いくみほか、豪華ゲストとともにトークや企画で盛り上がりました。



「ひかりTV」でのIP同時再放送開始に伴い、BS11の番組を更に多くの視聴者の皆様にお届け！

・AnimeJapan

・東京モーターサイクルショー



来場者14万人を超える日本最大のイベント（AnimeJapan・東京モーターサイクルショー）へ出展。どちらも盛況でした。



人気アニソン番組「Anison Days」が初の単独LIVEを実施！番組MCの森口博子、酒井ミキオが登場し豪華出演者とともに2日間の全3公演実施。大変ご好評いただきました。

- ❑ 本資料は日本BS放送株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- ❑ 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
- ❑ また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

日本BS放送株式会社

経営戦略局 経営戦略部

TEL 03-3518-1900

URL <http://www.bs11.jp/>

